参考資料３－３

新京都戦略 政策集

すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、基礎自治体として、市民や事業者が直面する課題に取り組み、住民福祉の向上につなげるため、福祉・健康・医療や教育・子育て環境の充実、包摂性の高いまちづくり、京都経済を支える地域企業等の下支え、市民のいのち・暮らしの安心安全など、市民生活第一を基本に据えたうえで、都市全体の魅力や活力を向上させます。生まれた都市活力を市民生活の豊かさにつなげる更なる好循環を創出するため、政策分野や市役所内外の組織の垣根を低くし、シームレスに取り組みます。

それにより、デジタルの力も活かし、人口減少対策や SDGｓの推進、京都ならではの地方創生の実現、持続可能なまちの構築を進めます。

１　京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし
「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」

２　居場所と出番により、つながり・支え合う
「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」

３　京都の伝統・知恵・イノベーションの力により
「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」

４　京都ならではの学びと子育て環境を通して
「未来を担う子ども・若者を社会全体で共にはぐくむまち」

５　豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした
「自然環境と調和する持続可能なまち」

６　市民のいのち・暮らしを守る
「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」

１　京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」

文化の担い手・支え手の減少、芸術家をはじめとするクリエイティブ人材 の受け皿の不足、京町家など歴史的な建造物の滅失、一部の観光地や市バス・道路の混雑といった課題に対応し、京都の自然・歴史が育んできた文化の力を活かし、文化庁との連携のもと、文化首都として、まちの魅力を更に高めていくため、誰もが文化に触れる機会の創出と文化の継承・創造の基盤整備、文化を基軸とした価値創造、京町家の保全・継承、市民生活と「観光」の両立に取り組む。

⑴　誰もが文化に触れる機会の創出と文化の継承・創造の基盤整備

①　伝統芸能・音楽・映画・アートなど、多様な文化に誰もが触れる機会の創出

②　地域・市民に開かれたオーケストラとしての京都市交響楽団の発展や京都コンサートホールの大規模改修を契機とした北山エリアの文化・交流拠点化【R10 以降】、国、民間等との連携による国際的な音楽祭の開催など、音楽の都としての魅力向上

③　ギャラリー、小劇場等の文化拠点の継承・発展に向けた取組の展開【Ｒ８】

④　若手芸術家の制作活動支援などを担う京都芸術センターの機能強化【Ｒ８】をはじめとした、文化の担い手や支え手の育成・支援

⑤　国との連携による国立文化財修理センター（仮称）の市内への早期設置の実現【R10 以降】

⑥　国、府等とも連携した京都ならではの博物館機能の整備【R10 以降】

⑦　政治・経済の首都である「東京」と歴史・文化の首都である「京都」の双方で、都としての機能を果たす「双京構想」に向けた、オール京都で、より幅広い方々に向けた更なる機運醸成等の推進

⑵　京都の自然・歴史が育んできた文化を基軸とした価値創造

①　新たな文化や産業の創出、地域の課題解決に向けた、＊＊＊（アスタリスク）in Residence Kyoto[1]の充実【Ｒ８】、市営住宅・民間ストックを活用した居住環境の整備、インターナショナルスクールの開設等に向けた取組の推進【Ｒ８】など、国内外のクリエイティブ人材の呼び込み、受入環境の構築、交流の促進、多拠点居住・移住の推進

②　国際的なアートイベントの開催など、文化遺産、京町家をはじめとした歴史的建造物等のユニークベニュー[2]としての活用の促進

③　文化遺産の保存と活用の好循環の創出に向けた、国指定文化財も含めた文化遺産の適切な維持管理の支援の充実【Ｒ８】と価値発信等を通じた担い手・支え手の裾野拡大、活用促進、滅失のおそれにある古文書などの未指定文化財の保全に向けた取組の展開【Ｒ８】

④　カルチャープレナー（文化起業家）[3]との連携による新たな価値の創造や、その

1　アート分野だけでなく、建築、料理、ビジネスなど、幅広い海外クリエイティブ人材を京都に呼び込み、地域との交流を通じて新たな価値を創造し、関係人口や交流人口の拡大を目指す事業。＊＊＊は、どのような言葉にも置き換えることができるという使われ方が＊にあることから、様々なジャンルの人材による無限の可能性を意図

2　歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

3　自分たちの文化、価値観などへの愛着等をエネルギーの起点に、共感者を増やし、文化的遺伝子を残していくことを意図して事業を成立させている人

価値が社会に与える影響の見える化などによる、文化への投融資の更なる呼び込み

⑤　アートを活かした産業の創出に向けた京都市立芸術大学とアートアンドテクノロジー・ヴィレッジ京都等の連携【R９】

⑶　京都の歴史、文化、町並みの象徴である京町家の保全・継承

①　固定資産税をはじめとした京町家の維持管理に要する所有者の負担軽減【R８】、国に対する相続税等の税制見直しや支援制度創設等の要望

②　条例改正による京町家の解体に対する規制等の強化、京町家の社会的保有及び活用・流通の促進、価値の積極的な評価と発信、（公財）景観・まちづくりセンターの機能強化【R８】など、社会全体で京町家を保全・継承する取組の推進

⑷　市民生活と「観光」の両立

①　国との連携による全国初のパイロットプロジェクトとなる市バス等の「市民優先価格」の実現【R９】と、バス・バス無料乗継などの運賃体系のあり方や二条城等の公共施設の「市民優先価格」など更なる市民サービス向上の検討

②　多様で奥深い魅力を活かした「観光」の推進と観光の意義や市民生活にもたらす効果をより実感できる環境づくりに向けた、宿泊税の引上げと、市民、観光客、観光関連事業者・従事者等の京都観光にかかわる三者満足度が高く、新たな価値・魅力の創造にもつながる持続可能な観光推進の取組への活用【R８】

③　市民生活の静謐な生活環境や地域コミュニティの維持に向け、廃止命令も視野に入れた違法民泊[4]に対する厳格な対処と民泊の適正化に向けた監視・指導体制の強化、さらには、国と連携した都市計画手法も含めた立地規制など民泊規制のあり方の検討、条例改正等による抜本的な規制の見直し・強化【R８】

④　観光特急バスの利用促進、リアルタイム運行情報（車内混雑度や走行位置等）の発信強化【R８】、均一運賃系統における「前乗り後降り方式」の導入【R10 以降】など、市バスの混雑対策の実施

⑤　デジタル乗車券やクレジットカードによるタッチ決済の導入【R９】など、市バス・地下鉄のキャッシュレス化の更なる推進

⑥　旅先を大切にする旅行者の心構えを示す「ツーリストシップ」の周知【R８】による観光マナーの啓発及び観光関連事業者・従事者等、観光客、市民の京都観光にかかわる三者がお互いに尊重し合う関係づくりの推進

⑦　「京都ファン」の観光客に対する京都の魅力調査【R８】を踏まえた観光施策の磨き上げ【R９】

⑧　府市連携による周遊観光など、京都の多彩な魅力も活かした時期・時間・場所の分散化の推進や、観光ハイシーズンの休日におけるマイカーの乗り入れ抑制・制限の検討

⑨　ごみのポイ捨て（不法投棄）防止や観光地でのごみの発生抑制、民間協力によるスマートごみ箱の増設、市民・観光客、事業者・地域と連携した新たな散乱ごみ対策など、きめ細かな観光地等のごみ対策の推進による、更なるまちの美化の向上

⑩　暮らしの文化など京都に息づく奥深い魅力を活かした「暮らすように旅する観光」

4　法令の定義はないが、一般に、住宅（戸建住宅や共同住宅等）の全部又は一部を活用して、宿泊サービスを提供する施設を指す

の推進、おもてなし人材の確保・育成、多彩な人の交ざり合いや京都の文化の継承・発展につながる「観光」振興

⑪　京都の多彩な学藝[5]に触れることができる修学旅行コンテンツの造成や二条城等の市有施設における修学旅行生の優待（無料招待券の配付によるスムーズな入場支援）【Ｒ８】など、将来の京都への進学や移住定住にもつながる、修学旅行の積極的な誘致に向けた取組の充実

⑫　国との連携による国立京都国際会館の多目的ホールの拡張整備、歴史的建造物等のユニークベニューとしての活用など、京都の強みを活かした MICE[6]誘致の強化と市民や学生、研究者、企業等との交ざり合いや学びの場の創出

＜実施時期について＞

今後、実施する取組について、実施時期を記載しています。
（令和６、７年度に実施している取組は、実施時期を記載していません）。

（凡例）

【Ｒ８】　…　令和８年度から実施予定のもの。
【Ｒ９】　…　令和９年度から実施見込みのもの。
【R10 以降】　…　令和 10 年度以降実施見込みのもの。

※　「充実事業の実施」、「制度拡充の施行」、「整備工事への着手」といった状況となる時期を記載しており、「実施」は「実施済み」だけではなく「実施中」を含む。

※　今後、実施に向けて国や府と調整が必要な取組を含む。

5　学術と藝術の総称
6　企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称

２　居場所と出番により、つながり・支え合う「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」

少子高齢化の進展や単身世帯・共働き世帯の増加などによる地域活動に携わる余力の減少、担い手不足、地域のつながりの希薄化の進行による孤立の危惧といった課題に対応し、市民、地域、NPO、企業、大学などの多様な主体が垣根を越えてつながり・支え合う社会を構築するため、つながり・支え合いによる地域コミュニティの活性化と持続可能な地域づくり、福祉・健康づくり・医療衛生の一体的な推進、スポーツによる人づくり、健康づくり、地域づくり、一人一人が尊重され、誰一人取り残されない共生社会の推進に取り組む。

⑴　つながり・支え合いによる地域コミュニティの活性化と持続可能な地域づくり

①　地域コミュニティ Hub[7]等の取組を通じた、多様な主体との連携による、公園や学校、ホール、市役所前広場などの公共空間や、人々を癒し、コミュニティの中核をなす銭湯等の民間施設における、市民や多様な主体がつどい・つながり・交ざり合い・学び合う魅力的な場や機会の創出、交流機能や利便性の向上

②　地域コミュニティ Hub 等の取組を通じた、図書館における、自宅や学校・職場以外の第三の居場所づくり、さらには、新たなつながりや活躍の機会の創出による価値や気づきに出会える場づくりなど、図書館の多機能化に向けた取組の推進

③　多様な主体のつながり、結びつき、交ざり合い、学び合いの促進に向けた、人と人とをつなぐ「結節点」となる区 Hub[8]の設置による区役所・支所の更なる機能強化、地域のニーズを踏まえた区 Hub と市 Hub[9]による政策の磨き上げ、「結節点」の核となる人材の育成による持続可能で多様なコミュニティの形成の支援

④　多世代がゆるやかにつながり、交流する「居場所」としてのコミュニティ機能を担う銭湯の世代を超えた交流を促す取組と経営基盤強化への支援

⑤　地域コミュニティの担い手の学び・交流の場の創出

⑥　自治会・町内会の地域活動の負担軽減や活動の見える化に向けたスマホアプリ等の活用による新たなプラットフォームの構築【Ｒ８】

⑦　地域の高齢者の支え合いによるデジタルサポートの展開

⑧　自然、文化等の地域資源を活かした移住促進や関係人口の創出等を通じた北部山間地域の活性化

⑨　生活支援サービスの充実に加え、まちづくり活動に積極的な民間事業者、クリエイティブ人材、学生等による地域コミュニティの活性化や地域課題の解決等に資する市営住宅の空き住戸の活用

⑩　市営住宅の計画的な再生・マネジメントの推進

⑪　文化芸術、工芸、スポーツなど京都の多彩な魅力を活かした、多世代が学び合う生涯学習、リカレント教育の推進

7　市役所、区役所・支所の組織の垣根を越えて、市民や地域の多様な主体の「つながり」や「むすびつき」を、形成・促進するチーム

8　地域のさまざまな人をつなぐ結節点となり、地域資源を活かした「つながり」や「むすびつき」を形成・ 促進するため、すべての区役所・支所に設置

9　「区 Hub」が把握した地域ニーズを基に、行政分野を越えて連携・協働し、より良い政策の立案・推進に 取り組んでいくため、市役所に設置

⑫　地域住民や団体等が行う、道路・河川・公園の管理や美化活動への支援

⑵　福祉・健康づくり・医療衛生の一体的な推進

①　重層的な支援体制[10]による孤独・孤立など複雑・複合的な課題に対する支援の推進、福祉の担い手確保、地域社会全体でケアラーを支えるまちづくり

②　府市協調による 18 歳から 30 歳代のがん患者の在宅療養を支援する制度の創設

③　府市協調による精神障害のある人を対象とするための重度心身障害者医療費支給制度の拡充、通所施設への開設支援の充実や障害福祉サービス事業所への介護ロボットやＩＣＴ等の導入支援【Ｒ８】など、障害のある人が安心・安全に地域で生活するための支援と環境整備、社会参加の促進

④　働き盛り世代に向けたがん検診や生活習慣病予防の取組強化【Ｒ８】などの市民主体の健康づくりや妊娠期の歯科健診への助成などの生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進

⑤　加齢性難聴の方への補聴器購入の支援【Ｒ８】等による、高齢者の社会参加のきっかけづくりを支援

⑥　ICT を活用した、認知症の高齢者が安心して暮らせる見守り体制の構築や、要支援者等の高齢者の生活を支える市民主体のボランティア活動への支援【Ｒ８】など、医療・介護・生活支援サービスが切れ目なく提供され、住み慣れた地域で互いに支え合い、いきいきと生活できる地域づくり

⑦　医療従事者の確保・育成や社会福祉施設等の感染症対応に係る人材育成、府市連携による感染症対策に係る常設の専門機関（京都版 CDC）の設置【Ｒ８】など、府や医療機関、福祉施設等との連携による医療提供体制強化及び健康危機事案への対応

⑧　京都・乙訓医療圏における市立病院の役割を明確化し、関係機関との連携による市立病院の持続可能な運営体制の構築に向けた取組の実施【Ｒ８】

⑨　HACCP の普及・定着等を通じた食品の安全確保や府市で共同整備した衛生環境研究所の連携など、衛生的な環境の確保

⑩　官民連携による住宅セーフティネットの構築による高齢者などの住宅確保要配慮者への支援

⑶　スポーツによる人づくり、健康づくり、地域づくりを通じた心豊かな社会の実現

①　西京極総合運動公園の再整備【R10 以降】など、スポーツに親しむ環境の充実や、競技団体等と連携した民間スポーツ施設の公的利用の推進【Ｒ８】

②　宝が池公園運動施設アーバンスポーツパークなど、市民が気軽にニュースポーツ・アーバンスポーツに触れ、楽しめる環境づくり

③　スポーツ団体・スポーツ推進委員の活動の活性化支援、アスリート等の経験を活かしたスポーツ振興、プロスポーツチームと連携したまちの魅力向上に資する取組の推進、大規模スポーツ大会の誘致促進【Ｒ９】など、スポーツを活かした地域活性化の推進

10　既存の支援体制や取組を活かしながら、分野・属性を問わない「相談支援」、社会とのつながりや参加を支援する「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する包括的な支援体制

⑷　一人一人が尊重され、誰一人取り残されない共生社会の推進

①　DV、性暴力・性犯罪被害や家庭関係破綻など様々な困難な問題を抱える女性に対する総合的な支援や女性の活躍促進、仕事と家庭生活等の両立支援

②　人権尊重をあらゆる行政分野の基調として、性的少数者の方のパートナーシップ宣誓制度の都市間連携の拡大など、多様性・包摂性あるまちづくりの推進

③　国籍や文化の違いに関わらず、すべての人が安心・快適に暮らし活躍できるための支援、現状把握と分析を踏まえた地域における更なる相互理解・相互尊重を育む取組の展開【Ｒ８】による多文化共生の推進

④　戦争の体験・記憶を次代に継承する取組や平和の尊さを見つめ直す機会の拡充

⑤　ペットの終生飼養の啓発や、飼い主の体調不良時や災害時への備えの支援、地域猫活動の推進など、人と動物が共生できるまちづくりの推進

３　京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」

京都の経済・文化を支える地域企業・中小企業や伝統産業、農林業が抱える様々な課題に対応し、京都の持つ伝統・知恵・イノベーションを活かして都市の活力を創出するため、地域企業・中小企業の持続的発展・成長に対する支援、伝統産業や商業の振興、食文化の継承・発展はもとより、スタートアップの創出・成長促進、成長産業の振興、企業立地の推進、農林業の成長産業化と持続可能な経営の支援に取り組む。

あわせて、特色のある大学が集積する、大学のまち・京都の強みを活かした都市の活力の創出、都市の成長や魅力向上につながる都市機能の集積・充実に取り組む。

⑴　京都経済を支える地域企業・中小企業の持続的発展・成長の支援

① オフィスや民間ラボの開発促進、共創の場づくりなど、外部からアイデアを取り入れ、京都企業が発展するためのオープンイノベーション[11]環境の創出、交流等を通じた社会価値創造に向けたイノベーションの創発の加速化

② 地域企業・中小企業の魅力発信や、地域企業訪問プログラムの実施等によるインターンシップの充実、留学生の市内就職促進など、京都で学ぶ学生の市内就職の促進

③ 府と連携した奨学金返済支援の充実【Ｒ８】や導入企業拡大の働きかけなど、府市協調による就労・奨学金一体型支援事業の利用促進に向けた取組の強化

④ 地域企業・中小企業の持続的・創造的な成長・発展に向けたデジタル化・DX やリスキリング[12]、新製品開発等への支援【Ｒ８】

⑤ AI・ロボティクス・セキュリティ等の導入を支援するプラットフォームの構築・活用【Ｒ８】などによる地域企業・中小企業の IoT・ロボット技術を有する人材の育成支援

⑥ 地域企業・中小企業の経営基盤の強化及び円滑な事業承継の実現等に向けた相談・支援体制の構築、生産性向上による賃上げへの支援

⑦ 専門のコーディネータ配置など、産業技術研究所をはじめとした産業支援機関の技術支援やコーディネート機能の強化

⑧ ものづくりの技術基盤となる計測・分析機器の活用を支援するプラットフォームの構築【Ｒ８】

⑵　地域と文化を支える伝統産業や商業の振興、食文化の継承・発展

① クリエイティブ人材との交流等を通じたアートやファッション等との融合・連携により、伝統産業の新たな価値創造につながる国内外の販路の開拓・拡大や担い手の育成等を行う先進的な取組への支援

② 安心・安全な買い物環境整備への支援、スタートアップなど民間事業者等との連携による商店街の魅力創出と発信など、商店街等の振興

③ 中央卸売市場を核とした安心・安全な食材の安定的な流通、京都の食文化の発信と、府市協調による「食の京都」の推進

11　企業内部と外部のアイディアを有機的に結合させ、価値を創造すること

12　新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得すること

⑶　スタートアップ創出・成長促進、成長産業の振興、企業立地の推進

①　高いものづくり技術を持つ中小企業を対象とした、積極的な海外展開の支援によるグローバル企業の創出

②　ディープテック[13]の事業化支援、高度人材の発掘・育成、海外スタートアップ・エコシステム[14]等との連携強化【Ｒ８】を通じた海外展開等の成長支援による、世界を変えるスタートアップ企業の創出

③　スタートアップ企業の支援強化に向けた、経営人材の育成・誘致及び IVS 等のカンファレンス開催や交流イベント等を通じたネットワークの構築

④　産学公連携・オール京都による、スタートアップビザ制度[15]を活用した留学生の京都での起業支援

⑤　若者のアントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成し、京都で起業する人材を育成するプログラムの展開など、大学発ベンチャーやスタートアップの創出に向けた取組の推進

⑥　グリーンやライフサイエンスなど、京都が強みを持つ成長分野における産業の振興

⑦　産官学の推進体制の構築など広域での AI 時代に向けた半導体産業をはじめとするものづくり産業の振興や、国・府等との連携によるメディア芸術の振興などの産業育成・企業立地の促進

⑧　国内外の関係機関等との連携強化による、国内外の突き抜けた企業の立地や多彩な人材の集積・交流・協働の促進

⑨　社会課題の構造分析を踏まえた官民共同によるプロジェクトの実施や、国際的な交流の場や教育プログラムの提供によるローカルゼブラ企業[16]の成長の促進【Ｒ８】

⑷　農林業の成長産業化、持続可能な経営の支援

①　自然と調和した環境負荷ゼロを目指す「グリーン農業」や、新たな農業ビジネス創出の推進

②　公共施設の木質化をはじめとした建築物等への木材利用の促進と木の魅力発信、市内産木材のブランド化や木質バイオマスの活用の推進による、京都型の「ウッド・チェンジ」[17]の加速化

③　新規人材のトライアル雇用や職場環境改善等への支援【Ｒ８】など、農林業の担い手の確保・育成の推進

④　森林経営管理制度等の推進による森林整備の加速化

⑸　大学のまち・京都の強みを活かした都市の活力の創出

①　相談窓口の設置や日本語・日本文化を学ぶことができる拠点の充実【Ｒ８】など、

13　特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術

14　行政、経済団体、産業支援機関、大学、金融機関等の多様な関係者が結び付き、スタートアップ企業が継続的に創出され、成長する環境を構築していく仕組み

15　外国人起業家の更なる受入れ拡大を目指し、出入国在留管理局への申請時の条件を緩和し、外国人の起業準備期間として、最長１年間の在留資格を認める制度

16　ビジネスの手法で地域課題の解決に取り組み、社会的・環境的変化を生み出しながら収益を確保する企業

17　身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動

海外の研究者や留学生等が、京都に来て、安心・快適に暮らし、活動できる環境づくり

② まち全体をキャンパスに国内外の大学・学生と地域、学校、企業等が連携した地域活性化や社会課題解決に向けた取組の推進

③ 多様な主体と連携した学生への支援などによる、学生の京都への愛着醸成と市内定住の促進

⑹ 都市の成長や魅力向上につながる都市機能の集積・充実

① 国・事業者との連携による京都駅の施設改善と機能強化【Ｒ８】

② 京都駅周辺の次代のビジネス・交流の創造拠点化に向けた、本社や研究開発拠点をはじめとするオフィスや商業施設などの都市機能の集積の促進、京都駅前における公民連携による交通結節の利便性向上や人中心のウォーカブルなまちづくりに向けた取組【Ｒ８】など、京都の玄関口にふさわしいエリアへ再生するための取組の推進

③ 三条京阪周辺における国の都市再生制度の活用及びそれに基づく官民連携による都市機能の高度化

④ 市街化調整区域における産業用地創出の推進

⑤ 土地区画整理事業による都市の魅力と活力を高める市街地整備の推進

４　京都ならではの学びと子育て環境を通して「未来を担う子ども・若者を社会全体で共にはぐくむまち」

就職期、結婚・子育て期の市外転出、子ども・若者・子育て世帯が抱える課題やニーズの複雑化・多様化といった課題等に対応し、京都ならではの学びと子育て環境を充実するため、子どもが興味や関心を高め夢中になれる教育、子ども・若者を誰一人取り残さない切れ目ない支援、子育て世帯をはじめ市民にとって魅力あるすまいの流通に取り組む。

⑴　子どもが興味や関心を高め夢中になれる教育の推進

①　子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育と、学校運営協議会の活性化や学校外の方が多様な専門性を発揮できる開かれた学校づくり・地域ぐるみの教育の推進

②　市立・府立をはじめとした高校間連携、高大連携等による探究型学習、STEAM 教育[18]、英語教育、生き方探究教育及び演劇教育の実践、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成、グローバルに活躍できる人材の育成、京都のまちづくりにも寄与する市立高校の魅力の向上

③　幼少期からの伝統芸能をはじめとする文化芸術、食文化、ものづくり体験や自然・農林業体験など、地域交流を通じて子どもの豊かな感性を育む京都ならではの体験型学習の充実、京都の魅力に親しむ読書活動の充実【Ｒ８】、社会的な課題解決に向けて学ぶ意欲を高める探究活動の推進

④　発達障害や医療的ケア、不登校、外国籍の児童生徒など支援が必要な児童生徒への取組の充実や、いじめ対策の強化

⑤　学校給食センターの整備【Ｒ８】など、京都の食文化を活かした献立の充実ときめ細やかなアレルギー対応等の京都ならではの全員制中学校給食に向けた取組の着実な実施、学校給食の更なる充実と魅力向上に向けた情報発信強化を行う「学校給食未来プロジェクト」の推進

⑥　教育に係る保護者負担の軽減に向け、国の制度に加え臨時交付金を活用した小学校給食費の無償化【Ｒ８】、中学校給食費の無償化に向けた国支援制度創設の働きかけ、及び総合的な検討

⑦　多様な主体との連携による子どもの活動機会の充実に繋がる中学校部活動の地域展開の推進

⑧　国との連携による、小・中学校の普通教室等の空調更新や学校体育館の空調整備【Ｒ８】、校舎長寿命化改修、学校トイレ洋式化の加速など、誰もが安心・安全で快適に過ごせる学校施設の環境整備の計画的推進

⑨　デジタル学習基盤の効果的な活用など教育 DX の推進

⑩　教職員等の配置充実や処遇改善の実施による教員不足の解消、働き方改革の推進、学校問題の解決に向けた支援体制の構築【Ｒ８】

⑪　自発的な遊びを通して「学びに向かう力」を育む幼児教育の推進と小学校教育への円滑な接続

[18]　科学、技術、工学、数学に重点を置く STEM 教育に、芸術等を加えた総合的な教育

⑵ 子ども・若者を誰一人取り残さない切れ目ない支援の推進

① 第２子以降の保育料無償化の実施（認可保育施設、私立幼稚園【Ｒ８】）

② 府市協調による子ども医療費支給制度の充実【Ｒ９】と全国統一の制度創設に向けた国への働きかけ

③ 公園の魅力向上や公共施設等の活用による遊び場や活動の場の創出、こども本の森の整備【Ｒ９】、元ラクト健康・文化館への遊びと学びの拠点複合施設の整備【R10 以降】、さらには京都の多彩な学藝を取り巻く人のつながりを活かした夢中になれる学びの場の創出など、子ども・若者の「居場所」と、地域活動への参加等による「出番」の創出・充実、及び情報発信

④ 児童虐待やヤングケアラー、ひとり親家庭など、複雑・複合的な課題を抱える子ども・若者・子育て世帯への支援の実施

⑤ 新たな児童相談所の設置など、児童福祉センターの機能強化【Ｒ９】

⑥ 希望するすべての方を対象とした産後ケア事業の充実、５歳児を対象とする乳幼児健診の実施や健診後のフォローアップ体制の強化【Ｒ８】など、安心して妊娠・出産できる支援の実施

⑦ こども誰でも通園制度の利用拡充【Ｒ８】や障害のある園児の受入環境の充実など、保育環境の向上

⑧ 保育園等における１歳児に対する保育士等の配置充実【Ｒ８】など、より一層安全で質の高い子育て環境・運営体制の構築、幼児教育・保育を学ぶ学生が保育現場に触れ、実践的に学ぶ機会の創出など、子育て支援に携わる担い手の育成・確保

⑨ 老朽化した保育施設・設備の改修・更新に対する制度の構築・実施

⑩ キャンセル加算の創設など、病児・病後児保育制度の安定的な運用に向けた制度の拡充

⑶ 子育て世帯をはじめ市民にとって魅力あるすまいの流通

① 京都安心すまい応援金など住宅取得・改修支援による若年・子育て世帯の定住・移住促進

② 空き家バンクの活用による子育て世帯の定住・移住促進

③ 外郭団体等の政策連携パートナーと連携し、空き家のサブリース等による子育て世帯に手が届きやすい賃貸住宅の供給促進

④ 京都市若者・子育て応援住宅（愛称：こと×こと）をはじめとした市営住宅空き住戸の活用促進

⑤ 若年・子育て世帯に手が届きやすく、良質な住宅の創出に向けた市内周辺部の都市計画規制の再考

５　豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」

温室効果ガス排出量の削減ペースの鈍化傾向、森林・農地の多面的機能の低下といった課題に対応し、豊かな自然・歴史的景観と都市機能の改善・向上が両立する持続可能なまちを目指すため、脱炭素化・資源循環の推進・生物多様性の保全と回復の一体的実施、森林・農地の保全・活用・魅力発信、豊かな自然・歴史的景観の保全に取り組む。

また、公共交通の担い手不足やポテンシャルを活かしきれていない地域の存在といった課題に対応するため、持続可能な公共交通の維持と多様な主体との連携によるまちづくりに取り組む。

⑴　脱炭素化・資源循環の推進・生物多様性の保全と回復の一体的実施

① 水や里山、多様な生きものなど、京都の自然の素晴らしさを身近に感じ、発見し、愛着を深めるプラットフォーム「生きものむすぶ・みんなのミュージアム」の創設

② きょうと生物多様性センターを核とした市民・地域・企業等との連携や、自然共生サイト[19]への認定の更なる促進【Ｒ８】などによる生物多様性の保全と回復、生物資源の持続可能な利用の推進

③ 「脱炭素先行地域」[20]の展開、更なる民間事業者との連携による、省エネ・再エネの導入促進など、京都の文化・暮らし・ビジネスの脱炭素化の推進

④ 使い捨てプラスチックや食品ロスの削減及び資源物回収の拡大など、ごみの減量・資源循環の推進

⑤ 本来廃棄される製品に新たな価値を持たせ別の製品として再生させる「アップサイクル」を含む、持続可能な形で資源を効率的・循環的に有効利用して付加価値を生み出す経済の仕組み「サーキュラーエコノミー（循環経済）」への移行の促進

⑥ ごみ収集福祉サービス（まごころ収集）の拡充【Ｒ９】など、ごみ出しが困難な高齢者への支援の充実、本市全体の円滑なごみ処理と快適な生活環境の確保や資源循環・脱炭素化に貢献する次期クリーンセンターの整備【R10 以降】

⑦ 環境学習・教育の充実、多様な主体に対し環境保全に向けた前向きな行動変容を促す取組の実施【Ｒ９】など、市民・事業者・行政・滞在者等、各主体が協働して環境保全に取り組むための「ひと・しくみづくり」の充実

⑵　多面的機能を有する森林・農地の保全・活用・魅力発信

① 市民や企業など多様な主体の参画による森林保全活動の推進

② 北部山間地域での京都一周トレイルの整備【Ｒ８】をはじめとする森林文化の価値創造等による関係人口・交流人口の拡大

③ 農作物に被害を与える野生鳥獣への対策の強化

④ 適切な間伐や危険木の伐採など、水源涵養や災害防止に資する森づくりの推進

19　環境省が民間の取組等による生物多様性を増進する活動を認定する制度

20　2050 年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力における取組において、全国の先行例・模範となって、地域脱炭素の取組を広げていくことが強く期待される地域

⑶ 豊かな自然・歴史的景観の保全

① 鴨川の河川敷や隣接地を活用した新たな魅力ある河川空間の創出に向けた取組など、京都特有の水辺環境や自然、文化など鴨川や高瀬川が持つポテンシャルを活かした府市協調・公民連携による地域の魅力向上

② 多様な主体との連携による、質の高いみどりの保全・創出に向けた取組の展開

③ 京都にふさわしい通り景観[21]の創出など、地域の特性に応じたきめ細やかな景観形成のあり方の検討、都市機能の改善・向上と美しい景観の保全の両立を図る景観政策の推進

④ 歴史や文化が息づく、魅力あふれる道路空間の創出に向けた、無電柱化等の推進

⑷ 持続可能な公共交通の維持、多様な主体との連携によるまちづくりの推進

① 利用者の減少や担い手不足により厳しい状況にあるバス路線を維持するための支援、デマンド交通[22]など地域の実情に合わせた交通システムの検討【Ｒ８】など、持続可能な公共交通ネットワークの形成の推進

② まちの持続可能性や市内移動の利便性の維持・向上、さらには、京都のまちの発展・魅力向上にも資する、新技術や新たな交通システムを含めた京都の交通のあり方の検討【Ｒ８】

③ 洛西地域での自動運転バスの実証実験など、市バスにおける自動運転レベル４[23]の実装化に向けた取組の推進

④ 地域や交通事業者との連携による、高齢者なども含めたモビリティ・マネジメント[24]（利用促進）の取組の推進

⑤ 安心・安全・快適な自転車利用環境の充実や、公共交通を補完し、移動の利便性向上につながるシェアサイクルを推進するなど、自転車交通の役割の拡大

⑥ 持続可能な市バス・地下鉄事業運営のための運賃のあり方検討

⑦ 地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の全駅設置【Ｒ９】、四条駅の阪急連絡通路へのエレベーター設置【Ｒ８】など地下鉄駅における更なるエレベーターの増設、駅トイレのアップグレードプロジェクト、券売機での定期券の発売券種やクレジットカードによる決済手段の追加、異常時にお客様へ情報を発信するディスプレイの設置【Ｒ９】など市バス・地下鉄を安心・安全・快適に御利用いただくための取組の推進

⑧ 地下鉄駅構内へのベビーケアルームの設置拡大や駅トイレにおける生理用品の無料提供サービスの拡充【Ｒ８】など、市バス・地下鉄事業運営を通じた社会課題解決への貢献

⑨ 四条駅における大規模リニューアル【R10 以降】など、地下鉄の駅施設等を活用した更なる賑わいの創出

⑩ 次期都市計画マスタープランによる、「景観」、「住環境」、「都市機能」のバランスを考慮し、守るべき点と交通結節点等の伸びしろによるメリハリを意識したまちづくりの誘導【Ｒ８】

---

21 建物だけではなく、道路や電柱も含めた通りの景観を示す

22 予約があった時のみ運行する方式で、 路線バスとタクシーの中間的な位置にある移動手段

23 システム監視のもと、特定条件下における完全自動運転

24 過度にクルマに頼る移動から徒歩や公共交通の利用等による移動へと、一人一人の住民や、一つ一つの職場組織等に働きかけ、自発的な行動の転換を促していく一連の取組

⑪　地域特性に応じた活性化プロジェクトの市内周辺部の他の地域への拡大展開と新たな交通ネットワークの整備を図り、周辺自治体とも連携して京都全体の発展につなげ、広域的な都市圏「大京都圏」を創出

６　市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエント[25]なまち」

水害・土砂災害の頻発化・激甚化、花折断層地震や南海トラフ地震等の大規模災害への備え、救急需要の増加や消防団員数の減少、犯罪被害・消費者被害の多様化といった課題に対応し、市民のいのちと暮らしを守るため、危機管理・防災体制の構築、防災減災のためのインフラ整備・維持管理、消防救急体制の確保、安心して暮らせるまちづくりを進め、持続可能な地域づくりや文化を基軸とした価値創造、自然環境・景観との調和などとも連動し、都市のレジリエンス向上に取り組む。

⑴　危機管理・防災体制の構築

①　国や府、周辺自治体、地域、事業者との連携による災害時の情報共有体制の強化

②　令和６年能登半島地震も踏まえた災害用備蓄物資の充実、民間物流事業者との連携による災害用備蓄物資の倉庫の拡充、新たな避難所運営マニュアルの地域展開【Ｒ８】など、安心・安全かつ快適な避難生活環境の向上

③　大規模災害時における観光客等の滞留に備えた、寺社や宿泊施設、医療機関等との連携による帰宅困難者対策の推進

④　地域防災の中核を担う消防団や自主防災組織、水防団をはじめとする地域団体との連携や防災力向上に向けた取組への支援

⑤　防災教育・防災訓練の実施、マイ・タイムライン[26]の普及促進、視覚障害者をはじめとした要配慮者や多言語にも対応したハザードマップの導入【Ｒ８】などによる地域や家庭の防災力の向上

⑵　防災減災のためのインフラ整備・維持管理

①　道路整備や橋りょうの耐震補強等の推進

②　水道・下水道の管路・施設の更新・耐震化等の強化

③　河川改修、雨水幹線の整備等、雨に強いまちづくりの推進

④　ため池や水路などの農業用施設の改修・更新等の推進

⑤　地下鉄駅出入口等の浸水対策強化【Ｒ８】など、豪雨災害の激甚化・頻発化に伴う地下鉄施設の災害対策の強化

⑥　ドローン、AI などの新技術も活用した効率的・効果的なインフラの整備・維持管理・長寿命化の推進

⑦　堀川通の機能強化や、京都市と大津方面や亀岡方面を結ぶ道路ネットワーク構築【R10 以降】など、国と連携した広域的な道路ネットワークの構築

⑧　木造住宅や京町家等の耐震化・防火改修の推進

⑨　密集市街地対策の推進

⑩　既存建築物の安全性確保

---

[25]　一般的には、「さまざまな危機からの回復力、復元力、強靭性（しなやかな強さ）」を指すが、都市に関しては、「悪影響を及ぼす外からの力や、内部で生じる様々な困難な問題に、粘り強く対処し、克服し、より良く発展する能力」を指す

[26]　市民一人一人が災害に備え、「日頃からの備え」や「いつ」「何をするのか」について、時系列で整理する防災行動計画

⑶ 消防救急体制の確保

① 119 映像通報システムやドライブレコーダーを用いた映像活用システム等の新技術の活用、京都府南部消防指令センターの整備、府市協調による市消防ヘリコプターの２機同時運航を可能とする体制構築【Ｒ８】など、災害対応力の充実強化に向けた取組の推進

② 救急体制の充実、市民・事業所と連携した応急手当の普及啓発や AED の設置及び利用の促進

③ 消防団など地域との連携による防火対策の推進

⑷ 安心して暮らせるまちづくり

① 関係機関や地域との連携による防犯・交通安全活動の推進

② 地域等との連携による子どもの見守り活動の推進

③ 行政や地域の関係者が連携して高齢者や障害のある人等の見守り活動を行う地域協議会の取組など、消費生活の安心・安全の推進

④ 建築物や道路のバリアフリー化など、高齢者や障害のある人をはじめとする、すべての人にやさしい都市環境の整備の促進

⑤ 水道スマートメーターの導入【Ｒ８】による、山間地域等における持続可能で効率的な水道の維持管理体制の構築や、水道使用量の見える化、漏水の早期発見の実現

【政策の柱の関連指標（モニタリング指標)】10 指標

１　京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」

◆　「文化芸術活動が、京都のまちの活気につながっている」と思う市民の割合（市）　56.3%(R７現況値)

２　居場所と出番により、つながり・支え合う「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」

◆　「近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人との関わりやつながりを感じる」と思う市民の割合（市）　42.7%(R７現況値)

◆　「私の暮らしている地域では、多様な人が自分らしく暮らせている」と思う市民の割合（市）　36.7%(R７現況値)

３　京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」

◆　企業経営実績について、前年と比較して、改善したと思う中小企業の割合（京都市中小企業経営動向実態調査）　28.7%(R６現況値)

◆　「国内外から起業家や芸術家など様々な人が京都のまちに集まり、創造性の高い風土が生まれている」と思う市民の割合（市）　43.8%(R７現況値)

４　京都ならではの学びと子育て環境を通して「未来を担う子ども・若者を社会全体で共にはぐくむまち」

◆　「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う小・中学生の割合（全国学力・学習状況調査）　77.5%(R５現況値)

◆　「私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせている」と思う市民の割合（市）　41.5%(R７現況値)

５　豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」

◆　自然環境と調和した文化や暮らしが広がっていると答えた市民の割合（環境レポート）　39.7%(R５現況値)

６　市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」

◆　「私が困った時や苦しい時に身近に助けてくれる人や安心して過ごせる場所がある」と思う市民の割合（市）　31.5%(R７現況値)

◆　「私の暮らしている地域では、災害が起こっても周りの人たちと協力し合って対応できる」と思う市民の割合（市）　34.6%(R７現況値)

※　戦略の計画期間が令和６年度～９年度であることから、基本、計画期間前の令和５年度数値を基準値（現況値）とし、数値の推移をモニタリングします。

※　上記項目のうち、（市）は、京都市市民生活実感調査の項目を京都らしいウェルビーイングに関する研究の中で磨き上げた指標とし、数値については、肯定的な回答をした市民の割合を指しています。

【京都におけるウェルビーイング実感の関連指標】

◆　「自由に住む場所を選べる場合、京都に住み続けたい」と思う市民の割合　66.3%(R７現況値)

ＳＤＧｓに掲げる 17 のゴールとの関係性

１　リーディング・プロジェクト

①世界中からクリエイティブ人材がつどい・交じる「テラス」のまちプロジェクト	
②公共空間をまちに開くパブリック「テラス」プロジェクト	
③市民生活と「観光」の両立プロジェクト	
④地域の魅力向上プロジェクト	
⑤京都ならではの交通ネットワーク形成プロジェクト	
⑥「世界に唯一」を目指し、知や技術を創発する企業立地促進プロジェクト	
⑦世界と社会にインパクトを与えるスタートアップ創出・成長プロジェクト	
⑧「千年の都から次の千年へ」文化継承・価値創造プロジェクト	
⑨まち中に「学芸」があふれるプロジェクト	
⑩市役所・区役所の「つなぐ」機能強化プロジェクト	
⑪地域の「絆」で支え合う子育て応援プロジェクト	
⑫京都固有の町並みを次世代に「つなぐ」プロジェクト	
⑬「山紫水明の都」ならではの生物多様性・未来継承プロジェクト	

2　政策集

1　京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」	
2　居場所と出番により、つながり・支え合う「包摂性が高く誰もが生き生きと活躍できるまち」	
3　京都の伝統・知恵・イノベーションの力により「都市の活力と成長を支える産業が育つまち」	
4　京都ならではの学びと子育て環境を通して「未来を担う子ども・若者を社会全体で共にはぐくむまち」	
5　豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」	
6　市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」	